

不登校児童生徒の保護者アンケート 原本データ資料（公開用）

— 全設問 単純集計表・自由記述全文 —

教育委員会への提言のための実態調査（有効回答 120 件）

2026 年 7 月

長崎県フリースクール等ネットワーク

この資料について

本資料は、長崎フリースクール等ネットワークにおいて実施された「不登校児童生徒の保護者アンケート」の回答データを、集計表と自由記述全文により原本のまま公開するものである。

集計の対象は、調査末尾の設問で匿名公表に「同意しない」と回答した2件を除外した有効回答120件である。各設問の有効回答数（n）は設問により異なる（対象者限定の設問、無回答があるため）。複数選択可の設問では、回答数の合計が有効回答数を超える。割合は各設問の有効回答数を分母とし、小数第1位まで表示した（複数回答設問は「回答者に占める割合」）。

選択肢以外の記入（その他・自由記述）および自由記述設問（設問13・14）の回答は、誤字・脱字・表記の揺れを含め、一切改変せずに原文のまま掲載した。回答に含まれる施設名・地名等も回答者の記載のとおりである。氏名等の個人情報は含まれていない。

設問1 お子さまの学年（2025年度現在）

有効回答数：120件

回答（選択肢）	人数	割合
小学1年生	7	5.8%
小学2年生	7	5.8%
小学3年生	15	12.5%
小学4年生	9	7.5%
小学5年生	17	14.2%
小学6年生	19	15.8%
中学1年生	16	13.3%
中学2年生	17	14.2%
中学3年生	4	3.3%
高校1年生	3	2.5%
高校2年生	5	4.2%
高校3年生	1	0.8%
合計	120	100.0%

設問 2 不登校の期間

有効回答数：120 件

回答（選択肢）	人数	割合
半年未満	14	11.7%
半年～1 年	25	20.8%
1 年～2 年	28	23.3%
2 年～3 年	33	27.5%
3 年以上	20	16.7%
合計	120	100.0%

設問 3 お子さまの不登校により保護者として感じている困難（複数選択可：お子さまの心配以外で）

有効回答数：120 件（複数選択可）

回答（選択肢）	人数	回答者に占める割合
経済的負担	93	77.5%
精神的な負担・不安	86	71.7%
仕事との両立	70	58.3%
家族関係の緊張・不和	48	40.0%
孤立感・相談先のなさ	40	33.3%
その他（自由記述・下記に全文掲載）	13	10.8%

▼ 「その他」自由記述（全 13 件・原文のまま）

1. 学校の先生の無理解
2. 他の保護者との繋がりがなくなる
3. 学校の担任に全く期待できない。関わる気持ちも感じられない。
4. 学校の理解のなさ。
5. 学校の配慮のなさ、支援に協力的でない。
6. 同年代の子供同士の関わりがなくなること。
7. 学習環境
8. 現在の教育システムと現代社会的ニーズの齟齬
9. 子供に自立に必要な支援先や情報
10. から求職中ですが、勤務時間を子供のフリースクールの送迎時間に合わせるので、なかなか仕事が見つかりません。
11. 将来が不透明
12. 運動不足
13. 学校側との連絡訪問などのやり取りが非常に辛くトラウマになっています。

設問 4 現在のお子さまの過ごし方（複数選択可）

有効回答数：120 件（複数選択可）

回答（選択肢）	人数	回答者に占める割合
自宅で過ごしている（ホームスクーリング等以外）	56	46.7%
民間支援施設（フリースクール・オルタナティブスクール等）	49	40.8%
学校に一部登校している	47	39.2%
校内教育支援センター(SSR)/別室に通っている	21	17.5%
教育支援センター（適応指導教室）に通っている	17	14.2%
ホームスクーリングを行っている	6	5.0%
家庭教師を利用している	5	4.2%
その他（自由記述・下記に全文掲載）	16	13.3%

▼ 「その他」自由記述（全 16 件・原文のまま）

1. コネを利用している。保護者送迎。フリースクールも視野にはあるが、経済的に無理。
2. 祖母、親戚宅
3. 教育研究所のメタバースも併用している
4. 不登校になる前から利用している放課後デイサービスが助けてくれ朝から夕方まで利用させてくださっている。送迎もしてくださっている。
5. 通信制高校サポート校在籍
6. 自室で引きこもり、家族との会話は殆どなし
7. 今は、私立の中学に通っている。
8. 塾に通う
9. オンラインフリースクール
10. 放課後デイサービスに午後から出かける
11. 本人の気力や経済的にどこにも所属する場がないけど、引きこもりでもないので公園や動物園などへ出掛けて四季を感じている
12. 自宅で過ごす。土日は出かけたりしている。
13. 佐世保市のあすなろ教室に週 1 回通っている
14. 児童センター、祖母宅
15. 1 月から再登校出来るようになりました。
16. 家でダラダラとゲームしたり、動画みてます

設問 5 「民間支援施設」と答えた方に質問です。現在、お子さまが利用されている施設まではどのように通われていますか。

有効回答数：58 件

回答（選択肢）	人数	割合
保護者・家族による送迎	30	51.7%
主に JR を利用	13	22.4%
主にバスを利用	6	10.3%
徒歩	4	6.9%
それ以外	5	8.6%
合計	58	100.0%

設問 6 「民間支援施設」と答えた方に質問です。現在、月額の利用料はいくらぐらいですか。（複数通われている場合は合計）

有効回答数：52 件

回答（選択肢）	人数	割合
5,000 円～10,000 円	13	25.0%
10,000 円～15,000 円	13	25.0%
15,000 円～20,000 円	6	11.5%
20,000 円～25,000 円	6	11.5%
25,000 円～30,000 円	4	7.7%
30,000 円～35,000 円	4	7.7%
35,000 円～40,000 円	4	7.7%
それ以上	2	3.8%
合計	52	100.0%

設問 7 費用の負担感について

有効回答数：65 件

回答（選択肢）	人数	割合
支払えてはいるが、負担感が大きい	48	73.8%
問題なく支払えている	11	16.9%
支払いが難しく継続できない／できなかった	3	4.6%
その他（自由記述・下記に全文掲載）	3	4.6%
合計	65	100.0%

▼ 「その他」自由記述（全3件・原文のまま）

1. 無料のところなので負担感はない。

2. 放デイに行けていたけど、利用日数が増えると利用料が増えました。収入によるだけでなく兄妹児が多い場合も免除をしてほしい。
3. 今は自宅で過ごしているため、費用負担はありません。

設問 8 お子さまの不登校による、保護者の就労状況や家計への影響について（複数選択可）

有効回答数：113 件（複数選択可）

回答（選択肢）	人数	回答者に占める割合
電気代・食費・学習のための出費が増えた	90	79.6%
フリースクール等に通わせる費用負担が大きくなった	54	47.8%
保護者の就労を時間短縮や在宅勤務に切り替えた	42	37.2%
仕事を辞めた	24	21.2%
費用負担が大きくなったので副業など仕事を増やした	6	5.3%
その他（自由記述・下記に全文掲載）	11	9.7%

▼ 「その他」自由記述（全 11 件・原文のまま）

1. 両立できず働けない
2. シングルマザーでフルタイムで働いています。不登校になった当初 時短勤務をお願いし時間目は私と登校した。しかしその後私がいてもいけなくなったのでフルタイムへ戻した。
3. 貯金を切り崩しながら、家計負担している
4. 学習に必要な費用が余分にかかる
5. 費用負担が大きくなったので休職中
6. 通院送迎や交通費増
7. 長時間、家で一人なのは気になるので、フルタイムの仕事に行けない
8. フリースクールなどの送迎における保護者の就労でのシフト調整する必要になった。
9. 保護者自身も精神疾患のため就労できていません。
10. 仕事を 5 ヶ月休んだ
11. 今後はフリースクール等を検討しているが、費用負担が心配です。

設問 9 現在、お子さまが民間施設を利用していない保護者への質問です。利用していない理由を教えてください。（複数選択可）

有効回答数：61 件（複数選択可）

回答（選択肢）	人数	回答者に占める割合
親は行かせたいが、子どもが行かない	23	37.7%
費用が高くて利用できない	21	34.4%
住んでいる地区に利用できる施設などがない	16	26.2%
親も子どもも、今は家庭で過ごしたいと考えている	8	13.1%
公的支援で十分と感じている	3	4.9%
その他（自由記述・下記に全文掲載）	14	23.0%

▼ 「その他」自由記述（全 14 件・原文のまま）

1. 子どもが自分で通える距離にない
2. 利用時間が短すぎる
3. 小学校は行けてたので、基礎的なことはできると思い、通信制高校に進学が決まったので、何もしなくてもどうにかなるだろうと思ってしまった
4. 市内に施設はあるが遠い
5. 付近にそういった施設がない。また民間施設も前に書いた通り、具体的なプログラムがあるわけではなく、対症療法としてだけで、社会的ニーズと齟齬があるように感じられる。
6. いくつか提案した中で本人が公立の支援センターを選択した。費用や一人で行き帰り等を考えても民間より選択しやすかった。
7. 学校内にある特別教室があるので、ひとまずそこでいいと思っている
8. 送迎が必要な時間に仕事をしており、中々折り合いがつかない。
9. 自宅から出ないので手立てがありません。
10. 塾に通い高卒認定試験を受けて大学受験を目指す
11. 期間が長引けば利用したいです。
12. 次年度から利用予定
13. 本人が行きたくても遠方
14. 再登校出来るようになったので

設問 10 すべての方への質問です。日中、お子さまを民間施設に通わせるとした場合、月々の費用はいくらまでなら自己負担可能だと感じますか。

有効回答数：120 件

回答（選択肢）	人数	割合
0 円（無料でなければ厳しい）	16	13.3%
～5,000 円	32	26.7%
5,000 円～10,000 円	45	37.5%
10,000 円～15,000 円	11	9.2%
15,000 円～20,000 円	6	5.0%
30,000 円～35,000 円	1	0.8%
その他（自由記述・下記に全文掲載）	9	7.5%
合計	120	100.0%

▼ 「その他」自由記述（全 9 件・原文のまま）

1. コンネやおおばは無料なので、出席扱いになる施設も同様にして欲しいと思う
2. コンネとおおば教室が無料なので、他の出席扱いになる施設も無料にしてほしい
3. おおばやコンネが無料なので、他の出席扱いになる施設も無料にしてほしい
4. おおば教室やコンネは無料なので、出席扱い民間施設も無料にしてほしい。
5. 不登校時が 2 人となると 5000 円から 10000 円まで 1 人でも 2 人でも
6. 義務教育期間中であれば、民間施設もそれ 同等の負担と同一である必要があると考えます。
7. 交通費込みで 15000 円までだと続けられます。
8. 交通費食費等考えても、できるだけ負担額が低いと助かる
9. 金額と支援内容と釣り合うかどうか確認次第

設問 11 ご家庭の合計年収は、いくらぐらいですか。

有効回答数：120 件

回答（選択肢）	人数	割合
100 万～200 万円	11	9.2%
200 万～300 万円	9	7.5%
300 万～400 万円	20	16.7%
400 万～500 万円	18	15.0%
500 万～600 万円	12	10.0%
600 万～700 万円	22	18.3%
700 万～800 万円	9	7.5%
800 万～900 万円	8	6.7%
900 万～1000 万円	5	4.2%
1000 万～1500 万円	2	1.7%
1500 万円以上	4	3.3%
合計	120	100.0%

設問 12 公的な費用助成があれば利用したいと思いますか。

有効回答数：120 件

回答（選択肢）	人数	割合
はい	120	100.0%
いいえ	0	0.0%
合計	120	100.0%

設問 13 経済的な理由でお子さまに与えたかった支援や学習機会をあきらめた経験があれば教えてください（自由記述）

有効回答数：52 件（自由記述）

▼ 回答全文（全 52 件・原文のまま）

1. フリースクールの回数が制限されてしまう。
2. 今でもフリースクール毎日行かせたいが、兄弟で不登校なので、回数を減らしてる。
3. フリースクールの回数を制限せざるを得ない。フリースクールに通う金額がなければ、別の教育の機会を設けられた。
4. フリースクールに毎日でも行きたいが、経済的負担が大きいため、回数を週 2 にしてもらってる
5. フリースクールがお金がかかるので、今は我慢してもらっている。
6. フリースクール行くのに、お金かかるからいけないと言ってる。妹と弟も行ってるので、我慢してるのかな。
7. フリースクールに費用がかかるので、旅行などにも行かせる機会を作れない。
8. スポーツなど習い事や家族での外出機会などにかかる費用を減らして対応せざるを得ない状況となっている。
9. 塾へ月 4 回通っていたが、フリースクール費用を捻出する為に 2 回に減らした。
10. 個別指導塾、フリースクール、オンライン授業
11. フリースクールには通学してるものの学習をしていないので通信教材をしていたが、金銭的に継続が難しくやめてしまった。
12. 個別指導型の塾
13. 家庭教師
14. 家庭教師、進研ゼミなどの学習
15. 地域の小学校に行けなくなり、フリースクールや私立の学校も見学に行ったが、送迎や費用面で断念した。
16. 職場の近くのフリースクール(オルタナティブ)が希望でしたが、仕事の勤務上、送迎も難しく、一人で通える範囲内に限定される、利用料も高いので、断念した。現在のフリースクールに不満は無いが、小学生の利用者が、わが子だけなので、この先も通うとなれば、不安。
17. 家庭教師を検討したが、料金がなくて諦めた
18. 魅力的な民間のフリースクール、オルタナティブスクールを利用してみたいと思ったけど、月額、利用料が高くて、無料のメタバースを利用させてもらってる
19. オンラインでの塾など利用してみたかった
20. フリースクールで放課後に勉強をさせてくれる（有料）が、余裕がなくて難しい。大人数での学習が難しいので家庭教師をお願いしたいがお金がない。

21. ない。
22. 本人がしたいと言った習い事
23. 学校に合わなければ行かなくてもいいと思っているが、社会から孤立することは避けたいので、オルタナティブな場所に行って欲しい。でも、平日毎日通える場所は自宅から遠く、また費用面の負担が大きいことから、通わせられない。
24. 自宅から遠い場所のフリースクールは毎日やっているが、遠いうえに費用も高いので現実的に通わせられない。
25. これまでは、貯金を切り崩しながら、サマースクールや色々な体験型ワークショップなどに参加してきましたが、
26. 通信制中学いいかもとおもったがあまりに高額だった。オンラインフリースクールも友達ができよさそうだったが同じく高額で手が出なかった。
27. 上の子も不登校でフリースに通わせたかったけど、月3万円ほどと聞いたので（他にも交通費）諦めました。
28. 家庭教師みたいなものを利用したいが学習に遅れがあるため今後の費用負担が心配。姉も通信制の登校型に通っていてそちらの負担が大きい
29. 習い事をやりたいと言われたのをさせてあげられなかった
30. 引きこもりだと「来てくれる」支援が欲しい。ただ子どもの側に居て、反応無くても時々話しかけて「じゃあまた来週来るね」と言う支援。もしくは、親の何気ない話し相手。
親も子も社会と繋がっていない孤独感が一番辛いと思うので。
31. 不登校当初、フリースクールに行っていて、すごく気に入っていたが、姉が私立中学進学し、フリースクールも値上げがあり、辞めました。
32. 不登校になって、あおば教室に通っていたが、圧倒的に授業を受ける機会が少なくなった。塾もお金がかかる。
33. 塾に通うこと。
34. 学習障害に特化した塾
35. 兄妹で不登校の為フリースクールやオルタナティブスクールへ通わせたいが負担が大きく難しい。
36. 子供が興味を持った学習をさせられなかった
37. 学習全部
38. 学習全部。学校の授業に出席できないので、「家庭教師のトライ」を利用していたが、費用の面で続かなかった。
39. 進研ゼミを受講しており、2年生までは意欲的に学習していたが、チャレンジパッドが故障し、買い替えに数万円が必要とのことで受講を辞めてしまった。
40. 私立の通信高校

41. 塾や習い事やフリースクールの選択肢であったり、子どもが一人であれば対応できることも、二人不登校なのでそのバランスを考えると難しいことも多く諦めたこともある。また今は選択できていても継続していけるのが不安である。
42. 個別に対応した方が息子のためだと思いましたが、フリースクールは月三万円ほど。他の習い事も辞めたくないと話すので、子どもが4人いる我が家にとって1人に月5.6万かかるのは無理だと必死に学校の先生方と面談して必死でした。もっと気軽にフリースクールへ通えるようになったら、子どもが限界と感じる前に色んな選択肢を与えられたなと思ってます。
43. フリースクール、県内外親子離島留学、県内外団体イベントへの参加、動物セラピー
44. フリースクールやオンラインスクールに関心があるが子どもが多く経済的に厳しいので諦めた
45. 英語をしたいと言ったがあきらめた
46. 起立性調節障害のため、外には出られないのでオンラインの家庭教師を利用している。算数の1教科だけでも教材費込みで月14,000円ほどかかる。
ひとり親のため、それ以上の出費は厳しく諦めたが、他の教科も受けさせたかった。
47. 受験に向けて塾に行きたいと言われたが、難しいと答えた。
48. 塾 現在の学年ではなく、前の学年からなると対応してくれる場所少なく、金額が高くなる
49. 学習障害向けの在宅学習もあるが費用的に無理だった
50. 習い事
51. 習い事
52. フリースクールの利用
塾

設問 14 お子さまが不登校になった時、公的支援、民間サービス含めて、どのような支援があるとよいと感じますか。（自由記述）

有効回答数：99 件（自由記述）

▼ 回答全文（全 99 件・原文のまま）

1. 義務教育で享受できるはずの補助金

2. フリースクールへの補助金か、不登校家族への補助金。不登校家族が繋がる場所。

3. メタバース、社会と関われる場、金銭的な補助、学校の先生の理解、自治体等の教育の支援はもっと不登校に関して本気になるべき。子ども親もとでもきつい状況なのを理解してほしい。

4. 不登校保護者の繋がり。SSR が学校内にあるので、同級生に会いたくないので、子供が行きたがらないから、学校外にあってほしい。

5. うちの子は、学校の授業もよく分からないと言っていて、SSR に行き始めて、勉強が頑張れている。今度中学校の S S R は自習と聞いているので、学習をどうしようか思っている。可能なら、今の小学校の SSR に行けたら良いなあと思っている。先生とも合ってるみたいです

6. 子どもの家族以外の人との繋がりがなくて、子どもが気軽に通える居場所があれば良いなあと思う。同級生に会いたくなかったり、大勢の人がいるところは嫌みたいなので、うちの子は少人数のところが良いです。またパソコンが得意なので、ゲームやパソコンなどができる居場所があったら良いなあと思う。

7. 基本的に学校の担任の先生のかかわりがきっかけで不登校になっています。先生方の児童への関わり方をもっと研究された方がよいと思う。押し付けたり、ルールで縛ったりして先生が運営しやすい教育をしないで欲しい。個別最適な教育を掲げるのは良いが、実際に昔よりも子どもに寄り添う余裕が先生方からなくなっていると感じる。プログラミングや英語など、勉強を増やすのではなく、子どもの個性を伸ばす方に目を向けて欲しい。学校に自由度がなくなり、窮屈になってきているのではないかな。どのような支援が必要かと言えば、子どもがのびのびと過ごせる学校の環境が必要。不登校となると、教育の機会や社会との関わりが奪われるだけでなく、費用もかさむ。行政は頑張っている子どもを支援したり、応援したりする事業を展開することも重要だが、教育の機会を奪われ困っている子どもたちにもっと目を向けるべき。これだけ不登校の子が増えているということは、もはやその子に問題があるのではなく、現在の学校教育が限界を迎えていると判断すべきではないのか。親が甘やかしているといった次元の話ではない。

このようなアンケートはありがたい。子どもだけではなく、親も苦しんでいる。親の会に参加すると、涙を流して不安を話される保護者がたくさんいらっしゃる。これは、当事者しか分からない思いだと思う。

とても素晴らしい活動をされているフリースクールなどがある。行政は、これらの活動を認めて一緒になって不登校の現状に対応していく方がよいと思う。

金銭的な問題でこのようなフリースクールが運営を続けられなくなるようなことがあれば、そこに居場所を見出していた子どもたちがあまりにもつらい思いをしてしまう。

8. フリースクール等の情報提供、親の支援、経済面の支援

9. フリースクール等の情報提供、親の支援、経済面の支援

10. フリースクール等の情報提供、親の支援、経済面の支援

11. 各町内に集まる場所無理なく過ごせる環境の場所があれば学校以外での落ち着ける空間に学校へ行かなくても誰かと触れ合う場所があれば良いと思います。

12. 無償による自宅への宅配・宅食サービスがあればとても助かる。

13. 学習支援

経済的支援

14. 経済的支援や相談先。相談先は学校から紹介されずに自分で手探りだった。

15. 複数の選択肢があること、義務教育中は学校に行くのと変わらない費用負担にしてほしい。

学校給食は無償化になるのに、その恩恵も受けれない。

不登校の家庭は家計の圧迫が増すばかり。

仕事もいつまで続けれるか分からないので、子の事情で退職せざるを得ない家庭への支援も考えてほしい。

16. ・フリースクール等学校以外の場所に行っても出席扱いを認めてほしい。(普通に登校している子達と同じにという意味ではなく、成績表上ゼロではなく注釈ありでも出席としてほしい)

・学校とオンラインで繋がって先生と接する機会や授業を受けられる環境が整ってほしい

・給食費補助範囲内で一部でもフリースクールにも昼食代補助の希望

17. 民間のフリースクールでも出席扱いを認めてほしい(普通に学校に行っている子達と同じにという意味ではなく、成績表ゼロになるのではなく注釈付きでも出席としてほしい)

オンラインで学校と繋がって先生と関わったり授業を受けられる環境が整ってほしい。

給食費補助の範囲内の一部でもフリースクールへの昼食代補助にあててほしい。

これらがまかり通ったら普通に登校している子達に不公平感が出ると思います。しかし学校に行っていない子が悪となり切り捨てる環境より、その子達も補助がある事で将来的に社会で働ける子を育てる事に繋がるのではと考えます。

18. まず話を聞いてくれて、適切な機関に繋いでくれるサービス

19. 学校ではない立ち場の方が、まず相談出来る立ち寄りところ、まず受け止めてくれる、そこから情報提供、案内役の人がいる場があってほしい。最初に絶望に陥って孤独で苦しまなくてよくなる。初期は何をどうしたら良いか途方にくれるし、親子ともエネルギーがない。そんな時に、手を差し伸べてくれる案内役仲介役のような、場所や機関があるべき。

20. 私が住んでいる西海市は不登校支援が不足していると感じます。適応教室を利用するのに何ヶ月もかかります。適応教室も先生の都合で利用できる日とできない日があり、時間も9:30から14:30まで。もっと気軽に利用できて、時間にも融通がきくと助かります。

21. フリースクールなどの送迎、昼ごはんを食べるところか、毎日提供してくれる近場の場所、無料か安い学習支援、親の定期的なカウンセリング、不登校親が集まって働ける就労先
22. 通信教育代の補助
23. やはり送迎問題。
子どもが自力で通える事は難しい。送迎のために仕事を休まないといけない。
24. 送迎や一緒にいてくれるサービスがあると助かります、学校でなくても少人数で過ごせる場所など、
25. 支援(受け皿)は、幾らあっても不登校は、減らない。根っこの公立小学校のシステムや先生方の業務改善が先。
26. 子どもの居場所の提供、学習支援できる体制、学校内に不登校の子どもが過ごせる場所を作り、それを支援する専門員の配置
27. 学校や教育委員会は民間サービスの事については詳しくないので教えてくれない。全ての施設についての相談ができる場所があれば良いと思った。民間を利用するとお金がかかるが、送り迎えなどでフルタイムでの仕事が難しくなる。子供が不登校になると仕事を続ける事が厳しい現実を思い知った。
28. 学校の中に無料で通えるフリースクールを作って欲しい。
29. フリースクールと放課後デイサービスが一緒になったサービスがあったらよいと感じる
30. 完全不登校になる前に、オンラインで学べる環境を選べたりできると勉強の遅れを防げると思う。
(学校では登校刺激か保健室登校くらいの選択くらいしか与えてもらえない) 校内別室も配置されていない所が多く、いつでも行ける、行ったら誰かと話せる、勉強出来るような校内別室があって欲しいと思う。学校に少し行きたくないと思った時に、そういう場が別室としてあるだけで、気が休まってまたクラスに戻れるような場であって欲しいとも思う。そういった環境で完全不登校を防げるのではと思う。
地域にも学校の時間でも気負わず集えるような子ども場所があれば家に籠らず、出かけやすいと思う。
31. 子どもへの学習教育の機会補償はもちろんのこと、子どもの息抜きや自己有用感を高められる様な遊びなどの体験の場。そして親が不登校離職しないで済む支援や制度、しばらく付き添い不登校の今後を子どもと一緒に考えられる時間、休暇などを、育児休暇や介護休暇と同じ様に与えることは必要だと感じる。
32. 民間施設までの送り迎え
33. 民間施設までの送迎
34. 学びの多様化と言われてるけど、経済的な理由で学びの選択肢が狭くなってるのはある
長崎県全体で補助や助成金があるともっと幅広く学びの選択肢が広がり、不登校の子供たちが当たり前前に選択して学べる環境が増えたら、不登校という言葉もなくなる
諸外国は不登校という言葉がない
日本の教育の概念が変わってほしいと切に願います
35. 外に出たがらないことが多く、他者とのかわりを避けるので、訪問看護的なもの。

36. 給食費を払い続けてました

食べた分だけの支払い方式にしてほしい

2、3ヶ月に1回行く時もあったため、そのままにしてた

中学校からは止めれるし、再会できることの説明は一度、養護教諭の先生から聞いてはいました
が、、、

本人が止めないでほしいという思いがあり、そのままにしてた、結局いかずじまいでした

教材費の請求も受けてないものでも支払うこともあり、なんだかなーとかPTA会費も払ったような気がします

不登校は何しろ、子供の年齢によったり、子供の状況によっては仕事をやめたり、減らしたり、家にいる時間が長い分 昼夜逆転、光熱費も上がるし、経済的負担が大きいですね

37. 学校以外で生き生き出来る居場所

38. 保護者や子ども自身の不安な気持ち、行き詰まりを感じる気持ちを吐き出せる、聞いてもらえる場所をもっと知ってもらえるように、学校の先生にも支援場所の周知やリーフレット（こども未来応援団のような）を渡せる環境になればいいのにな。と思います。

39. 学校側は 不登校でも登校する子には登校した際、配慮をしてくださいます。（特にうちは支援クラス在籍のため細やかな配慮あり）

ただ行けない子供、家庭には 特に働きかけ、サポートは ないに等しいのではないのでしょうか。不登校の児童が多い学校なら 学校側からも不登校で困っている家庭に 相談先や フリースクールの一覧表など準備しておいて提案してあげたら とても助かると思います。ちなみに うちの場合は不登校の親の集まりを立ち上げて下さった学校の先生がおられて 助けて下さいました。

40. 自分で歩いて行ける距離にフリースクールがあると助かります

41. フリースクールに通ったとしても学校より時間が短いのので、送り迎えのためにフルタイム勤務は難しい。自宅にいるとしても、学校に付き添うにしても、小学生の間は親が不在だと本人も不安がるので、仕事ができない。でも、お金は普通の子よりかかる。子どもが不安定なのでしっかり向き合いたいけど仕事もしないといけないので時間の余裕がない。

親が働けるような支援、又は、経済的な支援がほしいです。

あとは、通信制で勉強ができるようになれば本当にありがたいです。

とにかく学習の遅れを取り戻すのが難しい。

学校には毎年リモートで授業を受けたい（本人希望。可能な授業だけでもOK）と要望しているけど、「上に相談します」と最初に言われてそれで終わります。

42. 子供達が自身で考える力を育める、また興味ある事に取り組める、安心できる環境（スタッフ、場所）がある。スタッフも人として経験があり成熟している。地域の退職されたシニア世代の方々はどうか。例えば地域おこし協力隊員やまちづくり協議会などに予算をつけて人材を発掘、運営出来る人、場所を整備出来るようにする。

43. 最初に必要なのは、支える親の支援。

精神的に安定する事で子供に適切な対応ができる。余裕がない状況をいかに減らせるか、そういう支援が必要。

次に、子供にメンターなど、歳の近いお兄さんやお姉さんなどの親とは違う大人の存在。自分で探すのは大変。

次に学習をするにしても、やってみてダメだったなど、初期投資がかかる割にできない！などが大変。学習支援の補助などはない。

また、発達障害などがあると、普通の塾や通信学習を使っても学習がうまく行かないことや、本人の特性を理解して上手く進めるのが難しい。そういう支援が長崎にはほばない。

44. 送迎、支援して下さる先生を増やしてほしい。

45. 好きなことを自分で選んで過ごす場所

46. 適応指導教室がまずネーミングが悪く、問題児として扱われている感が否めず、また再登校をゴールに据えがちで、子どもが全く行きたがらず中学生が出席日数のために仕方なく行く場所と化しており、当事者に必要とされていない。ここが不登校を真に理解し、オルタナティブな場所として機能すれば救われる親子は多いと思う。

民間サービスはまだまだ数が少なく、選択肢としてもっと数が増えればよいと思うが、民間での運営は利用料が高くなりがちで、誰もが使えない。

校内フリースクールの民間委託運営など、官民で協働できる場が増えて欲しい。

また、子が不登校になった時に、学校から民間サービスの情報がもらえるのが一番良いが、なかなかそうならないのがもどかしい。

47. まず、適応指導教室が小学校低学年を受け入れないことがおかしいと思っている。最も留守番が難しい年齢を適応指導教室が受け入れてくれないと、親が仕事を諦めざるを得ず、不登校離職につながるし、公的支援として、この年齢以上はよいがこの年齢以下は難しい、などと線引きすること自体があり得ない。子どもの権利を不当に侵害していると思う。我が子の時に適応指導教室とのやり取りでとても傷ついた。この機関がちゃんと求められる機能を果たすことを望む。

民間サービスは利用料が高くなりがちなので、校内フリースクールの民間委託運営などの例が増えて行けば嬉しい。

民間サービスの利用料に加え、昼食などの経済的負担も大きいので、完全不登校の場合は学校に行っている子と同等の経済的支援が欲しい。現行の学校に合えばコスパが良いが、合わないから経済的負担が増えても仕方ないよね、自己責任だよね、という仕組みになっていて、子どもも親も不利益を受けていると感じている。学校が全ての子どもに合うシステムではないという前提に立ち、公平性と子どもの学ぶ権利という観点から、包括的な政策を立てて欲しい。

48. 親の就労支援、収入安定の確保

49. 子供の状況をよく理解して、この子にあった支援、関わり方を共に考えて下さる場がほしい。どこに行っても一般的な回答で、同じようなことを言われ、何も解決しない。結局、親がただただかけづ

り回り疲弊していく感じ。

一般的なことを理解したうえで、親に伴走してくれる人がいれば、この上なくありがたい。

50. 本当の幸せを学ぶ教育。職業体験など、様々な体験。あなたはあなたのままでいい、自分の人生を歩めばいいという子供を信じる親の教育。経済面だけでなく、子供達が生きていく力を育む支援。親がやりたいことをやり、輝くための支援。みんなでエコビレッジ創り。
51. フリースクールのない地域なのでフリースクール増えて欲しい。家から出られない状態が長いのでオンラインで自由に集える場所を公的に増やしてほしい。
52. フリースクールの半額補助、交通費の補助。フリースクールに通えない場合もオンラインスクールの補助があれば助かります。
53. 平日でも土日でも勉強できる環境が欲しい。
個別対応ができるよりいい。
家で週1でも子供の勉強や相談に来てくれる先生が欲しい。
54. フリースクールまでの送迎
55. 一人一人が学習を教えてくれる環境
56. 気兼ねなく相談できる場所
57. お昼ご飯のサポート、送迎のサポート、利用できる制度を教えてくれるサポート
58. 子が不登校になると親が支えるしか無いので、まずは親の支援が先。親の支援を充実させて欲しい。
59. 親のストレスが発散できるような気軽に話せる場や機会が欲しかった。幼児期は育児相談など公的なサービスを受けることができたが、小学生以上になると、相談や講演会、勉強会などの気軽に参加できる機会がほとんどない。
60. 保護者が気兼ねなく仕事を休んでも大丈夫な経済的な支援があれば、良いかなと思います。本人の支援だけでなく、家族への支援、傾聴していただけるケアがあると家族も疲弊しないケアの充実をお願いします。
61. 学校内で誰でも利用できる少人数の居場所があればよかった。保健室の先生がいい人で保健室に通っていたが、学年が変わり保健室の先生も変わって、通いづらい雰囲気になり、あおば教室に変更した。あおば教室があってよかった。
62. 食べた分だけの給食費を払う制度。
不登校当初、給食費を止めれることを知らなくて、半年以上、食べていない無駄な給食費を払いました。
使った分だけの教材費を払う。
使っていない、教材費を払いました。
63. リモートなどで、どこでも授業が受けれたらよかった。
今まで行っていた、学校（仲間）には行きたくなく、私立の中学に通うことになった。私立は、経済的負担が大きい。助成があればよかった。
地域以外の中学に進学できたら、よかった。

64. スクールカウンセリングで母も不安に思っていたとき支えていただけて助かりました。ただ、日程が限られていて仕事と調整が難しかったので、もう少し広く受け入れてもらえると嬉しいです。

65. ○フリースクールの利用料だけでなく、通うための交通費の負担もあり、どちらも金銭的な支援はありませんでした。

知り合いのお子さんで、フリースクールに通わせたくても費用を支払うことが厳しかったり、公的な施設で費用がかからないとしても距離的に遠くて通うのが困難といった方がいらっしゃいました。

また、小学生のお子さんの場合、保護者による施設までの送迎が必要ですが、保護者の仕事や体調不良等のため送迎できず通えないということもありました。

○民間でも公的にも、不登校になった際の支援がいろいろと増えてきていることはとてもありがたいと思っています。

ただ、ずっと思っているのですが、これだけ不登校の子どもたちが増えている状況で、なぜ学校そのものは変わらないのでしょうか。変わっている部分もあるのかもしれませんが、あまりそれを感じられません。これまでの学校のまま、合わなかったらじゃあこういう支援があるよ、という順番になっているように感じるのです。

学校そのものが、そもそも不登校が起きないような場所にならないうちに変わっていったらいいなと思っています。

66. フリースクールの費用軽減、できれば昼食支援。

67. 親の職場で、無給で構わないので、休職や休暇をとれる制度があれば良い

68. 同じ環境の家庭とのコミュニティの場所が欲しい

69. 子どもは集団が苦手です。小学校学級に比べ人数の少ないフリースクールすら行くことができません。

数学が好き、理科や実験が好きなど、分野を絞った少人数制のコミュニティ（専門知識の先生のもと）活動できる場があると、子どもの知的好奇心も満たされ興味関心の幅が広がると感じます。

70. 給食費は払っているが、市の指導教室に通うことが多く弁当持参している。

二重に負担である。何かの支援があるとありがたい。

71. フリースクールに通うための助成金

72. 学校に変わる選択肢を提示して欲しかった。親の知識量や、動いた量で他者との差が出るのはいかなものかと思う。学校側からすると、どうしても少しでも登校を勧める立場にあるため、子どもの心が守られないと思うが、不登校になった場合、その時点での子どものことを一番に考えた行動が取れるように導いてほしい。頑張らせなくてほしい。

73. 日中安心して過ごせる居場所、食事の支援

74. ・まず学校の理解、柔軟な支援体制。

・公的・民間フリースクール等の総合窓口のような、学校以外の選択肢の情報をまとまって知ることができるサイト等を学校や教育委員会等(保護者が見つけやすい場所)でつくってほしい。

・送迎

・公的支援センターに通所していますが、

新年度開所は4月下旬、1時間程度学習滞在中しなければ出席としない、2か月間極端に出席が少なければ退所と説明がありました。公的支援センターが最後の砦とならなければならないのではないのでしょうか？あまりに学校へ戻すことを主目的としすぎ、また必死に外部に繋がろう、生活リズム作ろうともがく親子を、見捨てる方向になっていないのでしょうか？ここにいていいよ、いつでも待ってるよと言ってもらえる場所が、民間頼りでいいのでしょうか。と思っています。

75. マンツーマンや少人数で学べる場、相談できる場、遊べる場が欲しいです

76. 親が仕事に行けなくなり、その分の収入が無くなる為、経済的に厳しいので、補助金があるといいと思う

77. 親の不安愚痴を聞いてもらえる所。

親の会も必要だが、当事者だけでなく、司会を出来る第三者やプロ（相談員等）がいたらよい。自分がギバーになりがちで、参加が億劫になる。

他の子どもが苦手な子に向けて、子どもと少人数で接してくれる場

学校にもステップアップルームはあるが、勉強が目的なので、そこではなく話やボードゲームをしても許される部屋があると外に出る理由（登校練習）になると思う。

フリースクールは多種多様な個が溢れかえっているので、繊細な人には辛いときもある。

個人に合わせて選べるくらいフリースクールが増えるといいと思う。今のままでは、フリースクールにつなげたくても送迎や、相性などの問題で現状維持でいいかとおもっています。

良さそうなところは、月謝が高い、家から遠い、一人では通えない。

78. まずは相談できる場所、親の気持ちを受け入れて話を聞いてくれる場所があればいいなと思います。特に母親は精神的に追い詰められます。まさか我が子が不登校になるなんて思ってもいなかったため、どこに相談していいのか悩みました。親が安心して気持ちを吐き出せる場所が欲しいです。吐き出せた後、不登校児の対応、話しかけ方などのアドバイスが欲しいです。

79. 教育支援センターでも授業を受けたい子には授業をしてくれる。（現在は親子に責任を丸投げした自主学習というかたちです。自主学習のなかで解けない問題はサポートしてくれるのですが、学校の速度に合わせて親が必死に計画を立てて、教材を渡して、子どもがセンターで学習しています）

80. 給食と同等の補助金。

フリースクール、支援センターへの交通の補助金。

学習支援のための補助金。

81. 自宅でも学習ができるよう、学校が授業中の黒板をカメラで映してくれたらと思う。

82. 親の精神的負担、不安が非常に強いので学校とのやり取りの間に入ってくれる支援があれば私自身が病気にならずにすんだと思います。

83. 料金に関してはやはりかなりの負担になるので、利用しやすい方法があればと思います。月会費など

払っても行けないことも多く、でも居場所は手放したくないので支払い続けることもあったり、その子のペースに合わせて費用的にも負担なくて続けて受けれるような支援があればいいなと思います。

84. 1.学習の支援。親の指導ではうまくいかないことが少なく無いので。2.親子で緩やかに参加できる、家庭や学校以外の場所。ただ、その親子なりの気分転換ができるだけでも有難いし、子供が無理せず少しずつ、まずは親と一緒に新しい体験に緩やかに踏み出せるような場所があると有難いです。

85. 母親の話を無料で聞いてくれるところ。子ども食堂以外にも安くでご飯が食べられるところ（子ども食堂は空いてる日時が限られているため、我が家は大学が近かったので学食がすごく助かりました）

86. 学校に無理に戻すような考えを持たない人への相談、アドバイス、民間サービスの紹介。（学校主幹教諭から「フリースクールはもめ事などあるから行かない方がいい」と言われた）

87. 我が家はもうすぐ不登校5年目を迎えます。

本人のペースで登校し、自分のペースで学び、たくさんの方々に支えられて親子共にストレスなく過ごしています。

当初は仕事との両立にかなり悩みました。

今となっては仕事を続けて良かったと心から思いますが、お子さんが低学年だとなかなか現実そうは行かない方もたくさんいらっしゃると思います。ひとり親ならなおさらです。

介護休暇、看護休暇のような、不登校になった場合の休暇が制度としてあれば助かったんだろうなと思います。

また、経済的負担はずっと大きく、公費援助があればと切実に思います。

88. 個別学習指導施設、親子共に継続的に相談できる相談機関、

89. 居場所作りと共に、毎日の学習支援もあれば嬉しい

90. 食費も増え、家庭教師のお金もかかっていて、出費が増えました。

ひとり親家庭で、出費はかなりの負担になっています。

不登校家庭への経済的支援が欲しいです。

91. 親と先生で話す支援会議

静かな環境子向けの図書室のような雰囲気のフリースクール

92. 身近な相談先と平日にふらっと通える居場所

93. 学習サポートサービス

94. 自由に出入りでき、一人ひとりに合った対応をしてくれる居場所。自宅から子どもが一人でも通える場所。

95. 日中、それぞれのペースで他の不登校のお子さんと遊べる機会があれば、親も子どもも孤独感が薄れると思う。

96. 給食付きで学校と同じ程度の費用で利用できたり、遠方であれば専用の送迎車などがあると助かる

97. 他のフリースクールの生徒との交流

98. 学校生活までとは言わないが、近い環境下で勉強出来る教室 子供が徒歩で登校出来る距離

今現在お世話になっている教室に満足しているが、行き帰りの送迎が負担となっています。これが少しでも少なくなると親ももっと頼りやすい。送迎が壁となり利用したいけど、利用出来ない人も居る

99. 親のカウンセリング

学校のカウンセラーの先生と、先生の意見が違い困った。学校に行けない理由が明確であるのに、そこを解決しないまま、保健室登校を強いて、教室復帰などあり得ないと感じたが、そこを理解してもらえない事が、親子共々に苦しかった。外部の無料のカウンセリングがあれば良かったと感じます。

設問 15 最後に。本アンケートの内容を匿名で提言書にまとめることについて

有効回答数：120 件

回答（選択肢）	人数	割合
同意する	118	98.3%
無回答	2	1.7%
合計	120	100.0%

※ 「同意しない」と回答した 2 件は、本資料を含む公表物すべての集計から除外している。

補足資料：実際のアンケート質問項目と選択肢等

①お子さまの学年（2025 年度現在）

小学 1 年生

小学 2 年生

小学 3 年生

小学 4 年生

小学 5 年生

小学 6 年生

中学 1 年生

中学 2 年生

中学 3 年生

高校 1 年生

高校 2 年生

高校 3 年生

その他:

②不登校の期間

半年未満

半年～1 年

1 年～2 年

2 年～3 年

3 年以上

③お子さまの不登校により保護者として感じている困難（複数選択可：お子さまの心配以外で）

仕事との両立

経済的負担

家族関係の緊張・不和

孤立感・相談先のなさ

精神的な負担・不安

その他:

④現在のお子さまの過ごし方（複数選択可）

自宅で過ごしている（ホームスクーリング等以外）

学校に一部登校している

校内教育支援センター(SSR)/別室に通っている

教育支援センター（適応指導教室）に通っている

民間支援施設（フリースクール・オルタナティブスクール等）

ホームスクーリングを行っている

家庭教師を利用している

その他:

⑤「民間支援施設」と答えた方に質問です。現在、お子さまが利用されている施設まではどのように通われていますか。

徒歩

保護者・家族による送迎

主に JR を利用

主にバスを利用

それ以外

⑥「民間支援施設」と答えた方に質問です。現在、月額の利用料はいくらぐらいですか。（複数通われている場合は合計）

5,000 円～10,000 円

10,000 円～15,000 円

15,000 円～20,000 円

20,000 円～25,000 円

25,000 円～30,000 円

30,000 円～35,000 円

35,000 円～40,000 円

それ以上

⑦費用の負担感について

問題なく支払えている

支払えてはいるが、負担感が大きい

支払いが難しく継続できない／できなかった

その他:

⑧お子さまの不登校による、保護者の就労状況や家計への影響について（複数選択可）

電気代・食費・学習のための出費が増えた

フリースクール等に通わせる費用負担が大きくなった

保護者の就労を時間短縮や在宅勤務に切り替えた

仕事を辞めた

費用負担が大きくなったので副業など仕事を増やした

その他:

⑨現在、お子さまが民間施設を利用していない保護者への質問です。利用していない理由を教えてください。（複数選択可）

親は行かせたいが、子どもが行かない

親も子どもも、今は家庭で過ごしたいと考えている

費用が高くて利用できない

住んでいる地区に利用できる施設などがない

公的支援で十分と感じている

その他:

⑩すべての方への質問です。日中、お子さまを民間施設に通わせるとした場合、月々の費用はいくらまでなら自己負担可能だと感じますか。

0 円（無料でなければ厳しい）

～5,000 円

5,000 円～10,000 円

10,000 円～15,000 円

15,000 円～20,000 円

20,000 円～25,000 円

25,000 円～30,000 円

30,000 円～35,000 円

35,000 円～40,000 円

それ以上

その他:

⑪ご家庭の合計年収は、いくらぐらいですか。

100 万～200 万円

200 万～300 万円

300 万～400 万円

400 万～500 万円

500 万～600 万円

600 万～700 万円

700 万～800 万円

800 万～900 万円

900 万～1000 万円

1000 万～1500 万円

1500 万円以上

⑫公的な費用助成があれば利用したいと思いますか。

はい

いいえ

⑬経済的な理由でお子さまに与えたかった支援や学習機会をあきらめた経験があれば教えてください
(自由記述)

⑭お子さまが不登校になった時、公的支援、民間サービス含めて、どのような支援があるとよいと感じますか。(自由記述)

⑮最後に。本アンケートの内容を匿名で提言書にまとめることについて

同意する

同意しない